

8月1日 AM6:00、曇天模様の中、13名が車に乗り合わせて松本を出発。AM7:00 沢渡で3名と合流し、小6、高1の青少年を含め、総勢16名となり、AM7:30 上高地を出発。横尾までの湿気が多い林道を進む。道沿いには、ヤグルマソウ、シダ類が大きく育ち、薄紫色のホタルブクロがみずみずしい。AM11:00 横尾到着。露天で昼食を摂る。ここから一列縦列となって登山道を登り、一ノ俣、二ノ俣の支流に架かる橋を渡り、PM1:45 槍沢ロッジに到着、泊する。夕食まで、資料を使いバテない登り方、足の痙攣予防など講習をする。



湿気が多い林道を行く



みずみずしいホタルブクロ



雨に打たれながら大曲り付近を行く

8月2日、ロッジから幸運にも、雲間に見え隠れする槍の先峰を望む。AM6:20 出発。しばらくで雨が降り始める。雨にうたれながら一時間程で大曲り、ここから雪渓の残る槍沢上部の急坂のジグザグ道に登る。斜面にはコバイケイソウが今を盛りと咲き、シナノキンバイ、ハクサンイチゲが色を添えて、風に揺れている。グリーンバンド上部からは雪渓を横切り、岩石道に登り、霧雨の中 AM10:30 殺生小屋で休憩。小屋内で早めの昼食を摂り、体を温める。AM11:00 殺生から東鎌尾根に登り、急峻な岩稜線を槍ヶ岳へ向う。

槍沢急坂を登る



急峻な東鎌尾根を行く

AM12:00、濃い霧雨の中、槍ヶ岳山荘に到着。思案して、今日の登頂を断念し、泊す。夕食後、雨が上がり、西の空が夕焼けに染まる。暮れる夜空に、白鳥座、北斗七星が瞬き始め、槍の穂先上空に北極星を探す。

8月3日快晴、薄明かりのAM4:45 山荘を出発。天候回復を待っていた大勢の登山者の大混雑の中、槍ヶ岳穂先の100m岩壁を一步一步慎重に登る。AM5:15 全員登頂する。「おめでとう！」30分ほど憩いのひと時を過ごす。絶壁をゆっくりと降下し、山荘で遅い朝食を摂り、AM7:30 下山開始。往路と同じ槍沢を下る。



槍ヶ岳 100mの岩壁を登る



AM5:15 全員登頂する。「おめでとう！」



槍ヶ岳の威容

途中、梓川源流で水を汲み、澁む川べりで幾匹かのイワナを見つけ、歓声をあげる。PM12:40 横尾の木陰で昼食、昼食後林道をひたすら歩き、PM4:10 上高地へ全員無事到着。タクシーに乗り込み、沢渡を経て松本でPM6:00 最終解散とする。「参加者は、悪気象条件の中、雪渓と急峻な岩場を登り、憧れの頂に見事登頂。自己との戦いにも克服した登山だった。」

夕暮れに霞む常念岳



山頂から望む穂高岳への縦走路



山頂から望む富士山と南アルプス



槍沢から望む大喰岳と中岳



槍沢に咲くシナノキンバイ



三日早朝、槍山頂を目指す



山頂からの笠ヶ岳と加賀の白山



参加者と朝の槍ヶ岳

